



曾谷の風

市川市立曾谷小学校
校長 田部井 伸郎

[→学校ホームページはこちら](#)

学校教育目標『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち

曾谷っ子の合言葉 「元気・本気・勇気」～3つのキを育てよう～



運動会特集！

様々にご協力ありがとうございました

日に日に「夏日」ですとか、「真夏日」という報道を聞くようになり、確実に季節は春から夏に移りつつあるようです。

さて、先週 25 日（土）の運動会は、たくさんの保護者の皆様に来ていただき、すばらしい、心に残る運動会となりました。ありがとうございました。

開会式でも話をさせていただきましたが、運動会の数日前には、安全な運動会の開催に支障を来すような事態が起こりました。しかしながら、皆様のご理解とご協力により、大々的に、無事に開催できましたこと、誠に感謝申し上げます。

保護者の皆様からの「私たちにも子どもたちのために何かできないでしょうか」という主体的なパトロール、当日の名札チェックの申し出は、学校としてたいへん有難かったです。曾谷っ子を支えていく「チーム」であることを深く感じることができました。

また、おやじの会の皆様には、朝 7:15 からのテントの立ち上げから、運動会終了後のテント収納までお手伝いいただきました。教職員と児童だけでは決して速やかな準備と片付けにはならなかったと思います。ありがとうございました。

残念ながら体調不良等で欠席となった児童はいましたが、元気に学校へ送り出させていただきました保護者の皆様にも感謝申し上げます。

様々にご協力をいただき、本当にありがとうございました。

運動会給食

運動会の前日 24 日（金）の給食は、学校ホームページの「今日の給食」でもご紹介していますが、運動会給食でした。献立は、翌日の運動会のために、ゲン担ぎのカツカレーと、紅白ゼリーでした。とても嬉しい心配りだったと思います。

子どもたちも運動会給食を食べて、翌日の運動会への気持ちを新たにしましたことでしょうね。



徒競走

1・2 年生は 50m、3・4 年生は 80m、5 年生は 100m、6 年生は 80m の借り人競争でした。どの子も 1 等賞を目指して頑張っている姿が素晴らしかったですね。たくさんの感動がありました。

その中でも特に感動したのが、5 年生の 100m 走での出来事です。ある男子児童は、一緒に走っていた友達が

転んでしまったのを見ると、走るのをやめて戻り、友達を立ててあげました。

みんなが一等賞を目指している中で、そのまま走っていれば一等賞は確実だった中での行動です。大人でもなかなかできることではありません。

その場にいた方々から大きな拍手が起こり、また閉会式でこの行動に触れた時にも、会場から大きな拍手が起こりました。多くの方が素晴らしい行動に感動した一幕でした。

集団演技

どの学年も運動会の練習は5月9日からでした。練習は12日間という短期間です。しかも運動会練習期間中は、雨の日が多かったため、思ったように練習が進みませんでした。そのような中で、子どもたちは本当によく頑張ったと思います（教職員もよく頑張ったのは敢えて言うまでもありませんが）。

低学年は「曾谷っ子 さいこうとうたつてん」でした。1年生は入学式から31日目が運動会。よく本番であそこまでできたと思います。2年生もお兄さんお姉さんとして、1年生のお手本になって頑張りました。東国分中の校長先生も見学に来られましたが、12日間の練習と聞いて、たいへん驚かれています。



中学年は「曾谷っ子エイサー『島唄』」でした。曾谷小学校の中学年は例年、日本の民舞に取り組むことが多いのですが、今年は沖縄の伝統芸能であるエイサーに取り組みました。エイサーとの関連として、図工でシーサー作りもしました。サージ（頭巾）や黒いTシャツもとても様になっていましたね。パーランクー（太鼓）の音もしっかりと合っていてカッコよかったです。

高学年は「5・6KING ～発揮と調和～」でした。フラッグと組体操を合わせた演技でした。やはり高学年ですね。演技の最後にふさわしく、素晴らしい発表でした。これを見た4年生以下は、「いつか自分たちもあのように素晴らしい演技をするんだ」という気持ちになったことでしょう。これからも曾谷小学校を引っ張っていってくれると嬉しいです。



応援賞・優勝

今年の優勝は最後の最後まで結果がわからない接戦となりました。その結果は、得点が611対628。優勝が白組、応援賞が紅組でした。



閉会式では、応援団長の2人にそれぞれ優勝杯、応援賞杯を手渡しました。

白組応援団長は下村さん、紅組応援団長は小林くんです。長八チマキと学ランも本当にかっこ良かった！応援団長として運動会を最後まで盛り上げてくれました。本当にありがとう。

○今日からまた平常の生活に戻りますが、子どもたちには運動会の経験を様々な場面に生かして欲しいと思っています。